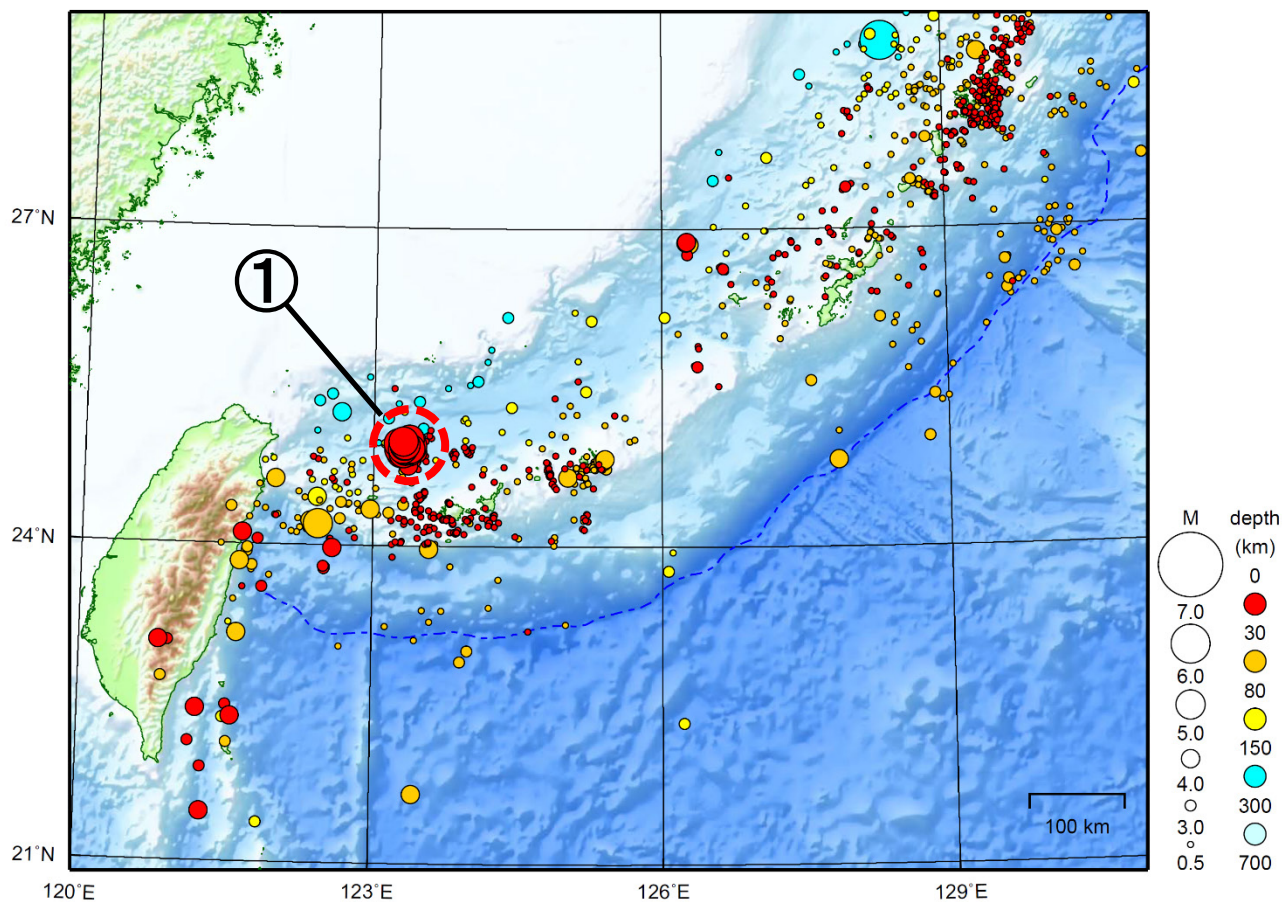


沖縄地方

2020/06/01 00:00 ~ 2020/06/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

① 6月14日から与那国島近海で地震活動が活発化し、30日までに最大震度2を観測した地震が2回、最大震度1を観測した地震が7回発生した。

情報発表に用いた震央地名は〔与那国島近海〕、〔石垣島近海〕及び〔石垣島北西沖〕である。

〔上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

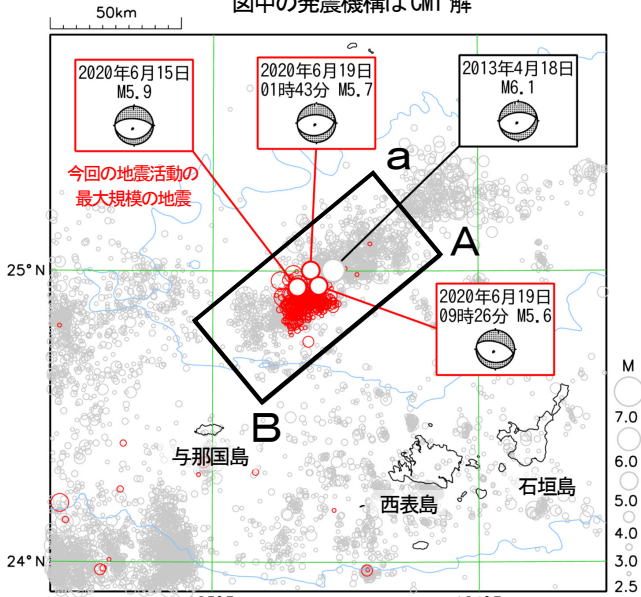
気象庁・文部科学省

6月14日以降の与那国島近海の地震活動

震央分布図

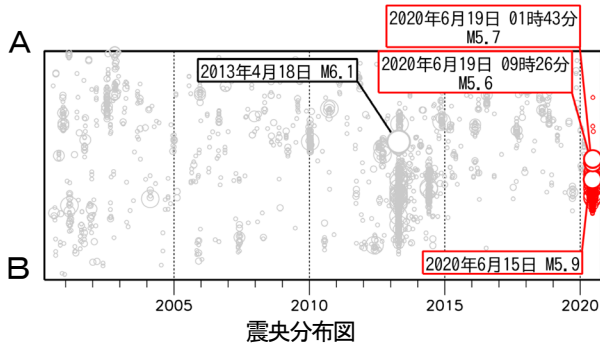
(2000年7月1日～2020年6月30日、
深さ0km～60km、 $M \geq 2.5$)

2020年6月14日以降の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内で2013年4月と今回(2020年6月14日～30日)の地震活動について、規模の大きい地震に吹き出しをつけた。
図中の青色の等値線は水深1500mを示す

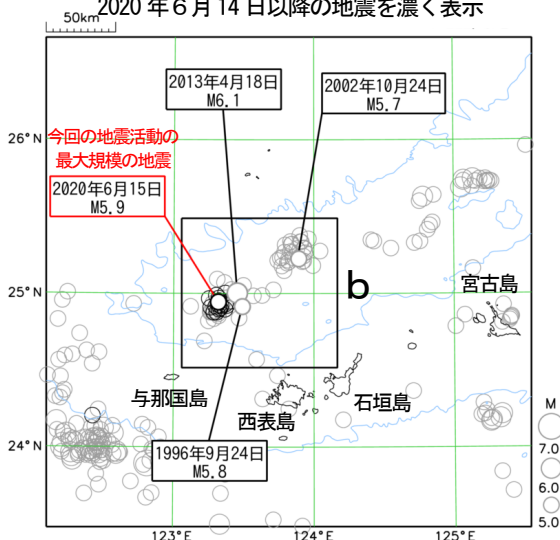
領域a内の時空間分布図(A-B投影)
(2000年7月1日～2020年6月30日)



震央分布図

(1990年1月1日～2020年6月30日、
深さ0km～60km、 $M \geq 5.0$)

2020年6月14日以降の地震を濃く表示



図中の青色の等値線は水深1500mを示す

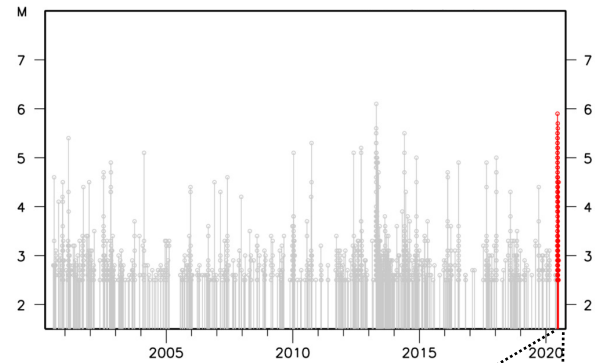
2020年6月14日から与那国島近海で地震活動が活発になり、30日までに震度1以上を観測する地震が9回(震度2:2回、震度1:7回)発生している。そのうち最大規模の地震は6月15日04時26分に与那国島近海で発生したM5.9の地震(最大震度1)であり、発震機構(CMT解)は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。

この地震活動は、沖縄トラフでの活動で陸のプレート内で発生している。

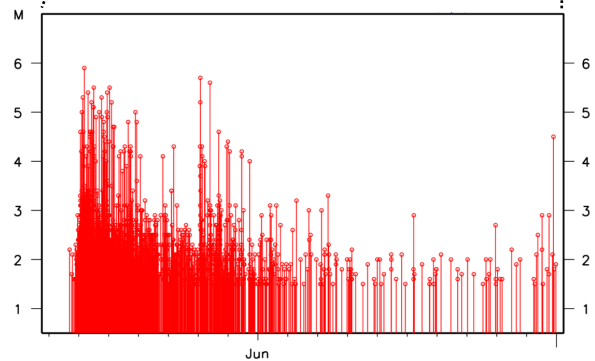
2000年7月以降の活動をみると、今回の震央付近(領域a)ではM5以上を最大規模とした地震活動の一時的な活発化が時々みられる。2013年4月の活発化の際には同月18日にM6.1の地震(最大震度1)が発生した。

1990年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M5以上の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図



(2020年6月14日～30日、 $M \geq 1.5$)



領域b内のM-T図

